



防災研究所

Disaster Prevention Research Institute

本研究所は昭和26年に設立され、平成8年度には全国の大学の共同利用研究所として再出発しました。災害学理に関する研究、その応用から防災に関する総合研究へと発展を続け、現在、5研究部門・6研究センターの構成で、防災学に関する国際的な研究拠点としての役割を果たしています。当初、国土の荒廃が災害発生の大きな要因であった時代から、社会の複雑な営みから新しい災害の発生をもたらす時代へと移るのに伴い、研究の一層の高度化、国際的に高い水準の学術研究の維持・発展を図り、萌芽的・独創的な研究に取り組んでいます。

2008年6月
岩手・宮城内陸地震
荒砥沢ダム付近の
大規模地すべり



2008年5月 四川大地震 地震・地すべり災害

総合防災研究グループ

災害に強い社会を実現するための科学と技術の総合化

社会防災研究部門

社会の変遷と災害の歴史を踏まえ、災害に強い生活空間、都市、地域、世界を目指し、長期的展望に立って総合防災研究のための方法論を構築する。

巨大災害研究センター

災害の物理過程の解明、情報処理過程での災害対応のあり方の提案、リスク軽減対策の向上から、危機管理による巨大災害の包括的な減災策を確立する。

地震・火山研究グループ

地震・火山災害からの人命・資産保全や安全確保のための科学的基礎および応用技術に関する研究

地震災害研究部門

強震動生成・伝播特性、構造物基礎の動特性、構造物群の地震時挙動の基礎的学理の究明及び地震災害の防止の研究を行う。

地震防災研究部門

地震災害の長期的予防を命題とし、各種の地球物理学的手法を用いた地震の研究・教育を推進するとともに地震に対する建設技術の洗練を目指す。

地震予知研究センター

地震発生の原因と機構の解明に関する基礎的研究を進め、地震予知手法の高度化と地震災害軽減の方法を確立する。

火山活動研究センター

わが国で最も活動的な火山である桜島を全国レベルでの野外観測研究拠点として位置づけ、噴火機構・予知および火山災害軽減に関する研究を推進する。

地盤研究グループ

地表変動による地盤災害の予測と軽減のための科学的基礎および応用的研究

地盤災害研究部門

地盤災害の予測と軽減を目指した研究を展開し、液状化、地盤沈下、斜面崩壊、地すべりなどについて学際領域を分野横断的に開拓して研究する。

斜面災害研究センター

地すべりによる斜面災害から人命財産や文化自然遺産を守るため、その発生機構解明、監視計測技術の開発、災害軽減のための教育能力開発を実施する。

大気・水研究グループ

地球環境の変化の中で大気と水に係わる災害の防止・軽減と水環境の保全

気象・水象災害研究部門

都市域・地域・地球規模に至る様々な大気と水に関する現象の解明と予測、及びそれに伴う災害の軽減・防止に関する研究を実施する。

流域災害研究センター

大気、水、土砂等の不均衡によって生じる流域・沿岸域での各種災害の発生機構を解明し、その災害予知・予測研究を推進し、諸対策について考究する。

水資源環境研究センター

地域・地球規模での水・物質循環を科学的・定量的・社会生態学的にモデル化するとともに、流域規模での複合的環境動態から水資源環境対策を検討する。

21世紀の安全なまちづくりのために

大きな災害を起こす地震、火山、地すべり・土石流、洪水、高潮、強風などの予知・予測と災害の防止・軽減を目指す研究や、社会システムをより災害に強い構造にするための研究をパネルで紹介。

火山や強風の正体を探り、災害を防ぐための研究を実験室公開・ビデオ展示などで学ぶ。

公開ラボ

◆都市空間の災害を観る

10/24・25 (土・日) 13:00~16:00

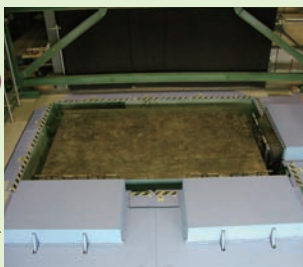
本館E棟3階E-320D号室③(社会防災研究部門)

都市火災のシミュレーション、淀川実時間流量予測システム、水害リスクコミュニケーション支援システム、等を実演します。

10/24・25 (土・日)
13:00~16:00

強震応答実験施設⑪
(社会防災研究部門)

地震による家具転倒危険性
実証実験。



◆火山・土砂災害を観る

10/24 (土) 10:00~16:00

本館E棟3階E-326Dセミナー室③

(火山活動研究センター・地盤災害研究部門・技術室)

火山・土砂災害の仕組みを模型実験などを通して学習
ができます。



◆土砂の流動化を調べる

10/24 (土) 10:00~16:00

本館E棟1階E-107D実験室⑫

(斜面災害研究センター)

斜面災害研究センターの地震時地すべり再現試験機



◆風の力を実感する

10/24 (土) 11:00~16:00

境界層風洞実験室⑫(気象・水象災害研究部門)

台風時にテレビで良く放映される傘? 一体、傘はどれ位の風であおられてしまうのか? 強風によって舞い上がる様々な飛散物? 当たったときの状態は? 今回は風の恐怖体験を実感してもらいます!



境界層風洞による実験

◆まちの危機管理についてディベートしよう

10/24 (土) 13:00~17:00

巨大災害研究センター 2階会議室⑩

(巨大災害研究センター)

住民たちが協力して地域や生活を守るための「地域防災・防犯」にどのように取り組めばよいのか、どのように進めればよいのか、オープンキャンパスの参加者が「四面会議システム」という新しいかたちのディベートを実際に体験することを通じて、協同による対策と、そのための議論の重要性を実感して頂きます。

「四面会議システム」とは?

現状を分析し情報の交換・共有の過程を通して対面コミュニケーションから問題解決策をシミュレーションする災害リスクコミュニケーション技法です。



◆災害を起こす自然現象を体験する

10/25 (日) 10:00~16:00

宇治川オープンラボラトリー⑬

(場所は巻末の地図をご参照ください。宇治キャンパスからシャトルバス有[p.12参照])

(流域災害研究センター・気象・水象災害研究部門・技術室)

災害(水、土砂、降雨、津波、地盤液状化)を発生させる自然現象を模型や映像で「体験」する。

浸水時に滝のような階段を昇って避難できるか?



総合展示(宇治おうばくプラザ)①

防災研究所と、災害や防災に関する最新の研究成果を紹介します。